

寺久保山～大小山山行報告

【山行日】2022年1月8日(土) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 700円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、飯口、嶋田、
関、津佐、廣瀬、福島、藤原ト、藤原フ、渡辺

【コースタイム】岩舟支所P6:00＝阿夫利神社 P6:30
＝寺久保 P6:50/7:10～寺久保山 8:20/8:30～塩坂
峠 10:10/10:20～鳩の峰 10:40～越床トンネル上尾
根 11:50/12:20～越床峠 12:40～越床山 13:00～妙
義山 14:00/14:10～阿夫利神社 P14:40/15:20＝岩
舟支所P16:00



冬季トレーニング山行として、寺久保山～大小山のロングトレイルを歩く山行を計画した。

岩舟支所を車3台に分乗して出発し、下山する阿夫利神社に車1台をデポして寺久保駐車地に向か



う。寺久保駐車地に車を止め、準備を整えストレッチを行って出発する。畑の中の道を進み雷電神社で安全登山を祈願して、神社裏の登山口から山道に入る。雑木林の中に付けられた細い道を登ると尾根に出て、尾根に付けられた登山道を進む。小ピークを越えて2つ目のピークが雷電山で、小休止して衣服調整と水分補給を行う。ここから右に下り、雑木林と植林帯の間を登ると再び尾根上に出る。落葉した尾根は見晴らしがよく、快適な稜線歩きを

楽しめる。只、左側にあるゴルフ場に大規模太陽光発電所が造られ、ゴルフ場のグリーンが黒い太陽光パネルで埋め尽くされ、痛々しい光景が広がっていた。アップダウンを繰り返しながら明るい尾

根を進み、大きなピークを越えると再び下りになる。鞍部からスギやヒノキ林の中を登り、傾斜が緩くなると右からの不動ノ滝コースと合流する。笹の道をそのまま直進すると、三等三角点がある寺久保山山頂に着く。山頂は杉林の中で展望は無いが、休憩してミカンや菓子などいただき足を休める。山頂から西に続く尾根を進み、展望が開けた場所から南西に急坂を下って行く。滑りやすい急坂は慎重に下り、鞍部からは再び快適な稜線上の歩きが続く。太陽光発電のゴルフ場を回り込むように進んで行き、右側には赤城山や足利の山々を見ながら歩くようになる。



いくつかのアップダウンを繰り返し、前方に三角形の山が見えてくると山王分岐に着く。

右に行くと山王のピークだが、今日は左に塩坂峠に向かって進む。すぐに岩とアカマツの明るいピークに出て、ここからも快適な稜線歩きが続いて行く。アップダウンの稜線歩きが続き、登山道が南から東に進み、再び南へと曲がると三角点分岐にでる。三角点には向かわずに南に下り、北関東



道の上を過ぎると小さなアンテナがあり間もなく塩坂峠に着く。峠には案内板やベンチがあり、休憩を取ってトマトや菓子をいただく。ここは十字路になっていて左に下ると寺久保へ、右に下ると樺崎八幡宮へ行くが、今回は直進して鳩の峰に向かう。自然林の尾根を登るとピークに出て、少し下って急坂を登り返すと鳩の峰に着く。山頂にはかつてあった鳩峰神社の礎石と石段があり、平坦な山頂で小休止する。ここからの下りは急降下で滑りやすく、本日のコース一番の難所である。取り付けられたロー

プやストックを頼りに、一步一步慎重に下って行く。この先も展望が良い稜線歩きが続き、穏やかな冬晴れに恵まれてとても気持ち良く歩ける。前方に大坊山から大小山への稜線が見え、越床峠がもう少しと頑張るが中々着かない。越床峠で昼食の予定だが、遅れているので手前の日当たりが良い尾根でランチタイムとする。お湯を沸かして各自持参したカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。出汁巻卵やカラアゲ、漬物などが出され、暖かい陽射しの下で至福のひと時を過ごした。

ランチが済んだら越床峠を目指して出発し、踏み跡が薄い尾根を下ると国道293号線の旧道に降りる。ほんの少し登り返すと越床峠に出て、峠から左に登って大小山に向かう。ここから妙義山までが本日のコースで最もきつい箇所、急なアップダウンが数回連続



する。最初の急坂を登り切ったピークが越床山で、この先のコースや大坊山へのコースが見渡せる。皆さん疲れた様子なので「あと3つピークを登ると妙義山なので頑張ってください」と励まし、あいの山から毛野山まで登って休憩を取る。疲れた足を休めたら妙義山に向かい、一旦下ってからまた登り返す。岩場のヤセ尾根やロープの登攀があり、スリルを楽しみながら登って行く。途中でSLが足に違和感を感じ、我輩が先頭で登って行くことにした。最後の急登を登りきり、妙義山山頂に到着する。山頂標識をバックに記念写真を撮り、大休止して残りのおやつを全部出し皆でいただく。ここから我輩と津佐さん、福島さんが先行して下り、寺久保にデポした車を取りに行く。阿夫利神社駐車場に戻ると、皆さんトイレを済ませて待っていた。朝と同じように車3台に分乗し、予定より少し遅れたが無事に岩舟支所に帰着した。